

30 世紀

創刊号

- 02 特集：30 世紀 エコロジカルメッセージ
ジョン・ムーア（SEEDS OF LIFE 代表）
- 05 地球を次世代に受け継ぐために
「できること」をやらなければならぬ
対談：日野雄策 x 助安博之
- 08 緑したたる地球を守ろう
助安由吉（環境詩人）
- 11 チベットの教育サポート基金
- 13 沈みゆく『美しい島』キリバス
- 15 本当に面白い作品に出会うまで
「PEACE & LOVE」Recommendation
- 16 ワンポイント心理ゲーム
知って得するエコな雑学
- 17 ふじ酵素玄米キッチン
- 18 酵素・良品



※広島島のピバさんから届いた商品案内の中に入っていたフリーペーパー『30 世紀』。センセーショナルなタイトルに込められた、その熱い思いを皆様と分かち合いたいと思います。（まほろば編集部）

30 世紀 エコロジカルメッセージ

本当に価値があるのは お金ではない 大自然と、手と、 種こそ、私たちの宝

ジョン・ムーア（SEEDS OF LIFE 代表）



30 年前に来日し、電通を経てバタゴニア JAPAN の初代支社長を務めたジョン・ムーア氏。彼は今、高知県の山奥に拠点を構え、「本物の種」を守る活動をしている。そんな彼に、この社会に思うこと、そして若い人たちに伝えたいことを語ってもらった。もう時間はない。必要なのは一人一人の Action! そして Do it!

30 世紀 エコロジカルメッセージ



物の種がなくなれば、各地で食べ物を作ることができなくなるのです。でも、やろうと思えば、誰でも本物の種をつなげることができます。例えば、ベランダや部屋でも、鉢に土を入れてそこに本物の種を蒔けばいい。みんなが本物の種を残す活動をすれば、次の世代に本物の種を受け継ぐことができます。そして、そんな小さな行動から大自然を感じ、学ぶことができるのです。

私は昔よく山に行きました。お茶と黒いパンだけを持って、自然を感じました。本物の鳥の声、本物の太陽の光、本物の風。都会に住むと、その本物の自然を忘れて、頭の中で物事を見るようになる。本物のことを知るためには、自分の手で大自然と触れ合うことが一番です。

私たちの世界は、見えないものが半分です。昼と夜、土の外と中、そして手の平にも見えないけど多くの微生物がいます。そんな微生物が手作りの味の重要な役割をしています。このように大自然は見るだけではなく、触れ合うことで感じることができるのです。

環境問題や自然保護、有機農業や食の問題など、考えることが多いけど、頭でいるいる考えるのはもうやめましょう。自分の手を使い、やるのが大事。アクションこそが大事。Do it! 本物の種を蒔こう。本物の種を交換しよう。そして互いに情報を交換しましょう。自分の手で種を育て、種をつなげよう。自分の育てたものを食べよう。一人一人が本物の種を蒔き、育てることで、確実に世の中が変わります。大自然が先生なのです。そこから学ぶために、みんなで本物の種を蒔きましょう。

※F1 種とは人為的に作られた種。別名「自殺する種子」の異名を持ち、収穫した作物の種を翌年に蒔いても実をつけない！1 代限りの種。

【大自然が本当の先生】

私たちは、各地に残る昔ながらの暮らしや技術、そして文化や芸術といったものを次の世代に受け継ぐ責任があります。東京の人がよく「日本はこうだ」と言うけど、東京が日本を代表しているとは思わない。そして、東京で便利さに麻痺している人々を見ると、宇宙人のように思えてならない。そういうことを感じて、私は「SEEDS OF LIFE」を作りました。

都会ではオーガニックとか、ナチュラルとか、おしゃれな感じで語られるけど、農業の本質はそんなことではありません。各地の本



vol.1

4

30 世紀
No.4473 17-056 5/12

緑したたる地球を守ろう

1979 年 2 月 28 日
助安由吉



地球を守ろう
緑したたるうるわしき地球
この地球を守ろう

子どもや孫にそのまま
緑したたるうるわしき
地球のままで
引き継いでもらおう

現在……
空気は汚れ
川は汚れ
山は削り取られ

地球の大気圏は
核の汚染
その他数えきれず……

地球を守るのはいったい誰なのか

木や花は緑や花を咲かせても
地球を守ることではできない
ライオンや象は
草原を駆け回ることができて
地球を守ることではできない

水は地表の汚れを
洗い流すことができて
地球を守ることではできない

地球を守ることができるのは
人間だけである

しかしすべての人間が地球を
守ることができるだろうか……

未開の地に住む人々は
大自然とともに
自然の掟のままに生活をする

自分の生活圏は守れても
地球全体を守ることではできない

最も科学技術の進んだ国々は
大自然の材料を使って
あらゆる便利な製品を作る
大自然の掟を破り
自国の経済発展のために
他を顧みようとしない

あたかも自分たちを中心に
世の中がまわっているように

続く

ワンポイント心理ゲーム



木の葉の地図をどう読むか

心理を左右されやすい。またその感性も多種多様で単純なため独自性をつける。A の人は社会性に富み常識的。そのため、世の中の俗事にビュアな心理も左右され、その感性のアンテナも乏しくなりがちである。B の人は応用力に富むが、人の意見や行動にそのビュアな

次の物語を読んで、質問に答えて。
アマゾンの奥深く、原住民の子供として、あなたは暮らしを営む。12 歳になったばかりのあなたは村の儀式に従い、1 人で旅をしなければならぬ。その時、村の長老から、地図だと言った一枚の葉っぱが手渡された。自分にくれたあなたは、その地図のことを思い出した。遠方にくれたあなたは、その地図のことを思い出した。さて、長老のくれた葉っぱは、どんな地図なのか。

A: 葉っぱは木の汁で地図が書いてある。
B: 太陽に透かして見ると、地図が浮かび出てくる。
C: 葉をかわと幻覚作用が起ころい。道が理解できる。
D: 葉っぱと同じ葉の木に沿って行くことと述べる。

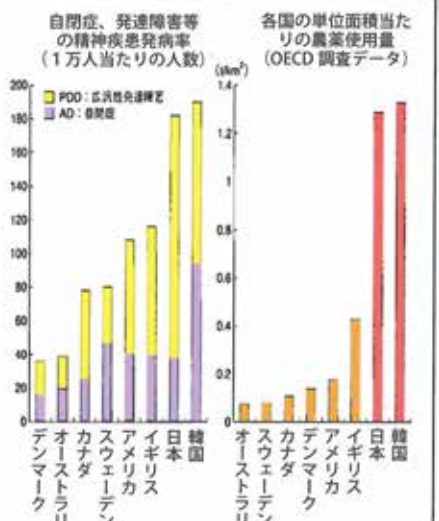
この質問はあなたの感性とビュアな心理をチェックするものである。
A の人は社会性に富み常識的。そのため、世の中の俗事にビュアな心理も左右され、その感性のアンテナも乏しくなりがちである。
B の人は応用力に富むが、人の意見や行動にそのビュアな

星野麻雄
1957 年生まれ。心理カウンセラー。油絵と心理学を海外で学んだ後、絵画治療を中心とした心理カウンセリングを始める。心理テスト、心理ゲームの手法を用いて、集団的なカウンセリングとセラピーの手法を確立した。著書：メタモル深層心理テスト（学研）、心の自画像（宝島出版）、ホントここがココ（東京中央スポーツ新聞）、他

知らなきゃ損するエコな雑学

◆精神までも蝕む農業や添加物の恐怖◆

右のグラフを見てほしい。これは OECD 加盟国の農業使用量と、各国の自閉症や発達障害の発症率を比べてみたものだ。農業とこれら精神疾患との関係性は明らかになっていないが、このグラフを見ると歴然だろう。このグラフには示されていないが、これらの国の中で食品添加物に対する明確な規制がないのも、アメリカと韓国だけ。比較的基準の甘いイギリスとアメリカですら、50 種類以上の食品添加物が認められている。日本では 500 種類以上が使われている。そして、そのほとんどが企業に丸投げの自主基準だという。農業や添加物はそれ単体でも危険なのだが、複数の物質が体内に入ると「複合汚染」として深刻な被害を生じることが指摘されている。精神疾患はもちろんのこと、ガンや成人病、アレルギー、さらにはうつ病や自殺願望までもが農業や添加物によって引き起こされる可能性を指摘する医療現場の専門家もいる。年間 35 万人を超えるガン死、3 万人を超える自殺者、15 万人を超える原因不明死者。この国はもはや「農業添加物戦争」の状態にある。



緑したたる地球を守ろう

思っている

その結果
物が豊富になった
しかし公害が
至るところに拡がった

物が豊かになった
しかし人間はそれに比例して
感謝の心を失っていった

物が豊かになった
しかしそれを失うまいとして
国と国との利権が
争いを生むことになった

物が豊かになった
しかし私たちの地球は
傷だらけになってしまった

自然の掟を破ったぶんだけ
人間はその報いを
受けなければならない

天変地異は
人間が作り出した
悪い原因の結果といえる

熱砂の砂漠に雪が降ったり
異常寒波が……
異常寒波が……

海流異常が……
異常寒波が……
異常寒波が……

地震が起きないといわれる地域に
地震が起きたり

紛争の絶える間のない地域に
紛争が生じたり

年々砂漠以外の場所に
砂漠化が進んだり
イナゴが異常発生したり

自然のあるべき姿からは
遠く離れた異常な現象である

これらはすべて
地球上に住んでいる
われわれ人間が
大自然の調和を破った報いである

地球を守ろう
緑したたるうるわしき
地球を守っていこう

過大なる軍備を持った大国よ
自国の存続も大切である

しかし自国の利権を守るために
かけがえのない地球を
この魂の修行の場を
危機に陥れて良いものだろうか

核の実験は人類の存続を
危くするものである

科学の粋を集めたものが
人類の役に立たず
破壊に使われるとは
一体どういうことなのか

もう一度大宇宙の中の
微生物のような小さな星
緑したたる宇宙船地球号を

人類の先祖が愛したように
愛していこう

人間のエゴで
国のエゴで
自ら住めなくする愚を
犯して良いものだろうか

地球を守る国は
強力な力を持つ国々である

その進む方向が

地球を破壊に導くからである

小さな力の国々が
いくら地球を守ろうとしても
力が及ぶはずがない

地球を守るには
相互信頼しかないのである

自国を信じることができないから
他国をも信じられないのである

人類の魂の修行の場
緑したたる地球を守ろう

さらには
科学や工業の進んだ国々が
率先して地球を守っていこう

科学や工業が
地球を破壊している場合が
あまりにも多いからである

緑したたる地球
うるわしき地球
かけがえのない地球を
守っていこう

私たち人類は
小さなことにとらわれず
大きな視野を持って
共通の目的を持って

緑したたる地球を
守っていこう

子や孫に
これ以上傷つけることなく

緑したたる
うるわしき地球を
引き渡していこう
できてしまった傷は
できるだけ修復して
もとの地球に戻そう

そして大自然の心に帰ろう

大自然は生かしあっている
相互依存の姿である
信頼の姿である

これは
人間が変えることのできない
絶対に変わることはない
大自然の法
永遠不滅の法である

この法を守って

緑したたる
うるわしき地球を
かけがえのない地球を
守っていこう

緑したたる
うるわしき地球を

みんなの地球を……

1979 年 2 月 28 日

助安由吉
株式会社エイト社代表取締役。
北海道小樽市に生まれ、
1965 年、吹奏楽部活動の出版、株式会社
ミュージックエイトを設立。
自衛隊の音楽隊で経験した感動を子どもたち
に体験してもらいたいというのが、大きな
動機。同時に「心の在り方」について追
求を始める。

助安由吉ホームページ
<http://sukeyasu.org/>
助安由吉フェイユブック
goo.gl/okFyIU